

# その他の連絡手段



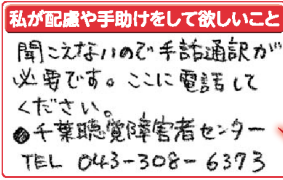
## ① ヘルプカード

ヘルプカードは、支援や配慮をお願いするカードです。カードには事前に自分に必要な支援などを書いておき、困ったときに見せて支援や配慮をお願いすることができます。  
(このヘルプカードは各市町村保健福祉窓口や各健康福祉センター窓口などで配布しています。)

ヘルプカードで手助けしてほしいことを!



● 声を出さなくても  
助けを求められる!



● 必要な内容を書いたメモと  
一緒に見せるとより効果的です!



● 必要な支援について自由に  
書くことができます。

〈メリット〉 ● カードを見せるだけで、自分に必要な支援や配慮をお願いすることができる。

〈課題〉 ● ヘルプカードの意味や使用方法が十分に普及していない。

(書き込む内容は、支援の必要な頻度の高いものを簡潔書きに)

# 千葉市方式

## 千葉市方式「緊急時手話通訳者派遣事業」

千葉聴覚障害者センターとの連携により  
**24時間体制に!!**

3つのメリット

### 1 確実な派遣体制



..... 毎晩「必ず」待機している .....

### 2 最小限の負担

- 個人の携帯は使わない  
→ 千葉聴覚障害者センターが貸与した携帯電話を使う
- 1か月でメンバー交代  
さらに週単位で優先順位も変える

	1月	2月	3月
	チーム1	チーム2	チーム3
第1週	①Aさん ②Bさん ③Cさん ④Dさん ⑤Eさん	①Fさん ②Gさん ③Hさん ④Iさん ⑤Jさん	①Kさん ②Lさん ③Mさん ④Nさん ⑤Oさん
第2週	①Bさん ②Cさん ③Dさん ④Eさん ⑤Aさん	①Gさん ②Hさん ③Iさん ④Jさん ⑤Fさん	①Lさん ②Mさん ③Nさん ④Oさん ⑤Kさん

1月の第1週は  
優先順位1位  
だから、とても  
緊張するわ!



### 3 フォローアップ体制

- 千葉聴覚障害者センター(千葉聴覚障害者協会)が受託  
コールセンターも手話通訳者も一元管理
- 市・区や関係機関との連携も万全  
市・区への報告、介護・相談支援事業等への送りやり調整など



上記しくみが他市にも広がり全国的に導入されることで、  
広域的に連携的に対処されたシステムが  
できることを期待します。